

Anogen社 30周年記念キャンペーン



HAPPY ANNIVERSARY

月替りで対象製品が変わる、15%割引実施中!!

Anogen社は1,000以上のハイブリードマで細胞バンクを設立しました。サイトカイン、受容体、腫瘍、神経障害、炎症性、自己免疫疾患研究用の300以上のモノクローナル抗体および60以上のELISAキットの開発および製造を行っています。研究志向の企業として、毎年10以上の新製品を発売しています。製品は世界中の何百もの大学、病院、研究機関、製薬会社、バイオサイエンス企業への提供実績があります。製品は豊富な参考文献があり、モノクローナル抗体はクローン違いで同一ターゲットの抗体を複数ラインナップしています。

対象製品

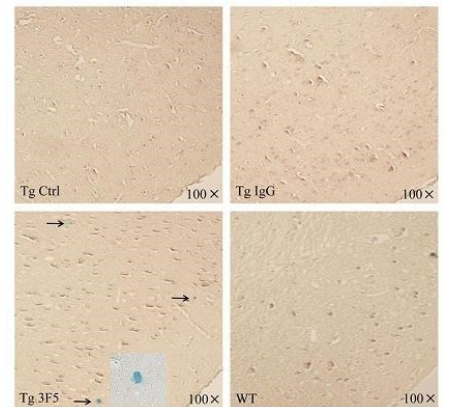
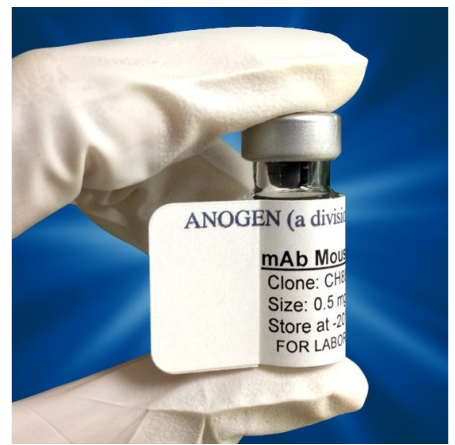
2019年7月	サイズ	税別定価	キャンペーン価格
ヒトPD-1およびPD-L1のマウスモノクローナル抗体、ペア抗体 クローン違いの抗体が複数あります!!	0.5mg	¥86,000	→ ¥73,100
2019年8月			
ヒトPD-1およびPD-L1のELISAキット	96well	¥103,000	→ ¥87,550
2019年9月			
C末端アミロイドβペプチド42、N末端アミロイドβペプチド、 C末端アミロイドβペプチド40のマウスモノクローナル抗体、ペア抗体 クローン違いの抗体が複数あります!!	0.5mg	¥79,000	→ ¥67,150
2019年10月			
血清アミロイドAのマウスモノクローナル抗体、ペア抗体 クローン違いの抗体が複数あります!!	0.5mg	¥104,000	→ ¥88,400
2019年11月			
血清アミロイドA ELISAキット	96well	¥112,000	→ ¥95,200
2019年12月			
インターロイキン17Aのマウスモノクローナル抗体 クローン違いの抗体が複数あります!!	0.5mg	¥86,000	→ ¥73,100

※対象月内での受注分に限りさせていただきます。

Anogen社製品のレビューや出版物を提出すると、年末にGoPro HERO7やKindle Paperwhite E-reader、スマートウォッチなどが当たるチャンスがあります!!

Ab1-42のN末端に対する新規モノクローナル抗体は、アルツハイマー病のマウスモデルにおいてプラークを減少させ、認知を改善する

アミロイドβ(Aβ)ペプチド、特にAβ1-42からなる老人斑は、アルツハイマー病(AD)の特徴であり、主な治療ターゲットとなっています。モノクローナル抗体(mAbs)を用いた受動免疫療法はADのマウスモデルにおいて初めて成功を示しました。既存のAβ特異的mAbの殆どが、動物モデルまたは進行疾患を有する患者で試験されましたが、ADの前駆期における動物またはヒトの試験参加者に対するmAbsの効果およびメカニズムは完全には解明されていません。現在の研究では、完全長ヒトAβ1-42のエマルジョンをマウスに免疫することにより、Aβ1-42の1-11アミノ酸に対する新規のmAb(3F5)が産生されました。mAb(3F5)はAβ集合体の破壊およびAβを介したin vitro神経毒を防止する能力を示しました。ADのマウスモデルでは、6ヶ月齢のマウスに3ヶ月間3F5を投与すると、mAbが特異的にAβ1-42と結合し、Aβ繊維の解重合を促進し、ミクログリアによるAβ1-42のエンドサイトーシスを促進し、神経突起伸長を伴う神経細胞の細胞死およびアポトーシスを軽減しました。3F5 mAbで処理されたAPP/PS1二重トランスジェニックマウスは記憶喪失、認知機能低下の減少および、脳内のアミロイド沈着のレベルの減少を示しました。脳組織中のAβ1-42レベルは有意に減少しましたが、血清Aβ1-42は著しく増加しました。興味深いことに、末梢循環中の3F5の濃度は、脳内の濃度よりもはるかに高くなります。これらの結果は、アミロイド沈着マウスにおいて、3F5が血液脳関門(BBB)を通過し、Aβと結合し、ミクログリアにより、抗体/Aβ複合体の食作用を開始することができることを示しています。3F5はまた脳からのAβ流出も促進します。結果として、抗体はADの病状の減少に関連して、ADマウス脳でプラークを減少させます。



Anogenニュース

Anogen社のIL-17Aモノクローナル抗体のクローン10F9およびクローン2D11は、ヒト線維芽細胞でIL-17A誘導性のIL-6発現を中和することが示されています。IC50は<0.25mg/mlです。(IL-17AはTh17細胞により産生された炎症性サイトカインで、自己免疫疾患および慢性炎症性疾患において役割を果たすCD4 T細胞のグループに新たに特徴づけられました。IL-23はTh17細胞発生の主な誘導因子です。TGF-β、IL-6、IL-21などの他のサイトカインにもこの手順に寄与することが見出されました。IL-17AはIL-17A、IL-17B、IL-17C、IL-17DおよびIL-17Eを含むIL-17ファミリーに属します。IL-17は、インターフェロンγと同様に、遅延型反応の強力なメディエーターです。IL-17はIL-6、IL-8、GM-CSF、G-CSF、TGF-beta、TNF-alpha、GRO-alpha、MCP-1のような他の多くの炎症誘発性サイトカインおよびケモカインの分泌を誘導します。IL-17は多くの細胞タイプによりNF-kappaB、マイトジェン活性化プロテインキナーゼ、プロスタグランジンの発現を刺激し、一酸化窒素の産生を促進します。)

Anogen社はELISAキット作成用のpre-titrated試薬セットを提供しています。Anogen社のハイブリドーマ細胞バンクは優れた製品品質を保証し、ロット間のばらつきが少なくなります。Anogen社はヒトCD47に対して20のハイブリドーマを開発しました。これらのハイブリドーマにより分泌されるモノクローナル抗体はヒトCD47に対し高い反応性が観察されています。これらの抗体は、CD47-SIRPalpha結合の遮断およびがん細胞への食作用の回復に対する機能について評価されています。



その他製品

Anogen社ではこれらの他にも多くのモノクローナル抗体、ポリクローナル抗体、抗体ペア、ELISAキット、ELISpotキットなどをラインナップしております。

フィルジェン 株式会社 

【お問い合わせ】 試薬部

TEL : 052-624-4388 FAX : 052-624-4389

メール : biosupport@filigen.jp URL : <https://filigen.jp/>

代理店

(July.2019)